

南天白通信 REOプロジェクト 広報版 第7号

12月4日(金)から10日(木)までの1週間は、人権週間。先日の放送集会では「南天白中学校で差別や偏見をなくしていくために、相手の良さに目を向けよう」というお話をしました。12月のREOプロジェクト広報版では、この人権週間の際、皆さんが見つけた友達の良さを紹介していきます。今回は、1年生の皆さんが書いてくれた内容を紹介します。



【Aさんについて】

○ Aさんは、誰にでも優しく同じように接していてすごいと思った。

【Cさんについて】

○ Cさんは、皆に平等な対応をして、人に対して接し方が変わらなくてすごいと思いました。みんなに優しく、笑顔で接しているので、こっちまで楽しく笑いながら話すことができます。

【Eさんについて】

○ Eさんは、誰かが困っていたら男女関係なく助けてあげたり、一緒に考えたりしてくれる。すごく優しくて尊敬できる人。私も助けてもらったことがあるのですごく感謝しています。

【Gさんについて】

○ Gさんは体育の授業でバスケットをしたとき、私はうまくプレイできないけど、パスを回してくれたり、ほめてくれたりしてうれしかったです。そのおかげでバスケットが楽しかった。

【Iさんについて】

○ Iさんは、時々話しかけてくれて、最初は、ただクラスの空気をよくするためだと思っていましたが、無理をして話している感じが全くなくて、これがIさんの素なんだなと思いました。コミュニケーション能力と、性格の良さが本当にすごいと思いました。

【Bさんについて】

○ Bさんを僕がすごいと思ったのは、みんなを励ましていることです。いつも明るく声をかけてくれる…。僕もこんな優しい人になりたいです。

【Dさんについて】

○ Dさんは、部活動がやりたいのにボランティアに参加していてすごいと思った。

【Fさんについて】

○ Fさんは、いつもみんなに気を配っていて、自分にも、移動教室の案内や、質問に丁寧に答えてくれる。とても優しくしてくれたので、ありがとうと言いたいし、自分もFさんみたいになりたいと尊敬できる人です。

【Hさんについて】

○ Hさんは、すごいと思った。体育がすごすぎるんです。あの大会の時にあれは速すぎる。そして今やってるマット運動。結構すごい大技は決めるし、すごい男だ。

【Jさんについて】

○ Jさんは、いつも大きな声でクラスみんなに声をかけていて、朝、教室に入ってくる時も「おはようございまーす！」と言って入ってきている。Jさんはハキハキしていて、すてきです。

☆ 今回、感心したのは『誰にでも、平等に優しく接することができる人がいるんだ』ということでした。なぜなら、このことは先生を含めた大人でも、なかなかできないことだからです。誰にでも苦手な人はいるし、無理に気持ちを抑えてばかりでは、ストレスがたまってしまうことにもなるでしょう。

でも、ちょっとだけ苦手だという気持ちを抑えて人と接することはできるんじゃないでしょうか。限られた人だけが実行するのではなく、みんなが無理せず、少しずつ実行していく…。それができるようになれば、周囲の雰囲気はずいぶんよくなるのではないかな…と先生は思ってるのですが、どう思いますか？

